



# 質実剛健・文武両道

校章は、桑葉に生糸を配したものである。桑樹は、生命力が旺盛にして強靱、生糸は、純粋無垢、優美高尚の象徴である。即ち、本校の礎が堅固であり、絶えず進展、躍動する青春を意味する。 2017年3月9日 No.23(2月号) 岩手県立千厩高等学校校報(発行者 校長)

# 理想の翼

岩手県立千厩高等学校

URL : <http://www.2iwate-ed.jp/sen-h/>  
〒029-0855

岩手県一関市千厩町千厩字石堂 45-2

事務室 TEL 0191-53-2091

FAX 0191-52-3170

平成 29 年 3 月 9 日 発行 No.23 (2 月号)

## 第10回せんまやひなまつり

- ・ 期間：平成 29 年 2 月 11 日(土)～3 月 3 日(金)
- ・ 本校の生徒 15 名がつるし雛を製作し展示
- ・ 箏曲部が演奏会を茶道部がお茶会を開催

国登録有形文化財千厩酒のくら交流施設を中心に、平成 29 年 2 月 11 日(土)～3 月 3 日(金)までの期間、「第 10 回せんまやひなまつり」が開催されました。本校箏曲部が演奏会、茶道部がお茶会を開催するなど、今年も地域貢献活動に尽力しました。



## 第4回北いわて学生デザインファッションショー

### 祝 優秀賞：渡邊 千尋さん

- ・ テーマ：「海を感じるドレス」
- ・ 夢がカタチになった素晴らしい一日でした。

第4回北いわて学生デザインファッションショー(北いわてアパレル産業振興会主催)が2月26日、二戸市石切所の市民文化会館で開かれました。本校の渡邊千尋さんがデザイン①したドレスがお披露目②～④)されました。素敵なおドレスですね!!



## 祝 応援団旗(太夫黒)寄贈される!!

- ・ 期 日：平成 29 年 2 月 2 日(木)
- ・ 原 画：本校第 24 回生 伊藤りよ さん
- ・ 寄 贈：旧職員内田正好さん、伊藤りよ さん

卒業生の伊藤さんが原画をデザインした応援団旗。元教員の内田さん(右)が手元にあった原画を染工場に持ち込み応援団旗を製作し、県立千厩高校(稲森藤夫校長、生徒 546 人)に、一関市千厩町が産地と伝えられる源義経の愛馬・太夫黒が描かれた応援団旗を寄贈しました。二十数年前的卒業生がデザインした絵を元教員が工場に依頼して染め抜いたもので、稲森校長は「高総体をはじめ、スポーツ行事などで広く活用したい」と感謝しました。太夫黒の絵を描いたのは 1992 年度卒業生の伊藤りよさん(同市藤沢町出身)で、在籍当時は美術同好会に所属しており、この頃に同校で応援団を担当していた内田正好さん(71)＝同市川崎町＝が、伊藤さんに「自分なりのイメージで描いてほしい」と太夫黒の原画制作を依頼したそうです。当時、応援団旗のデザインにすることは秘密で、完成後に驚かせるつもりでしたが、伊藤さんの卒業や内田さん自身の転勤などが重なり、二十数年の間、保留になっていました。昨年 11 月、伊藤さんが地元にいることが分かり、本人に旗のデザインに用いた了承を得て実現に至ったとのこと。内田さんは、伊藤染工場(同市川崎町)に原画を持ち込み、横 3メートル、縦 2メートルほどの大きさの旗に染め抜いて完成させました。「跳ね駒太夫黒」の文字と共に、躍動感あるりよしい太夫黒の姿が団旗の中心に据えられています。応援団旗の贈呈は 2 日に同校で行われ、稲森校長は「近いうちに全校生徒にお披露目し、スポーツ行事や入学、卒業などの式典にも飾らせてもらいたい」と話していました。内田さんは「伊藤さんは当時描いたことを覚えており、太夫黒をデザインに応援団旗を作りたいと伝えると驚いていた」と語り、「太夫黒は千厩のシンボルなので、全校生徒から OB まで多くの人に見てもらいたい」と願っていました。(2017/2/4/岩手日報)



## 祝 国体ソフトボール少年女子第3位

- ・ 表彰：国体ソフトボール第 3 位を讃え賞牌授与
- ・ 対象：伊東千尋、小林彩香、小野寺セリカ
- ・ 期日：平成 29 年 2 月 15 日(水)

いわて国体ソフトボール競技に出場した少年女子岩手県チームは、10月4日(火)、花巻市にある石鳥谷ふれあい運動公園で、決勝の切符を明け、優勝候補の一角とされる千葉県チームと対戦しましたが、残念ながら 1 対 7 で敗れ第 3 位となりました。しかし、これは 1996 年の広島国体以来 20 年ぶりとなる好成績です。尚、優勝に輝いたのは、岩手県チームを破った遠野出身監督率いる千葉県チームでした。おめでとう!!





# 清田小学校とのふれあい授業

- ・期 日：平成 29 年 1 月 18 日(水)
- ・小学校：理科の総まとめ
- ・先生役：生産技術科課題研究班



# 車椅子に新しい命真心こめてタイへ 壊れた車椅子5台再生

- ・期 日：平成 29 年 1 月 12 日(木) 県社協へ
- ・生 徒：生産技術科車椅子修理班 (7人)

一関市千厩町の県立千厩高校産業技術科と清田小学校のふれあい授業は18日に開かれ、高校生が学校の授業で学んだ知識を生かし、児童にもづくりの楽しさを伝えました。これは産業技術科の出前授業の一環です。同授業は小学校の理科の総まとめを兼ねており、事前に6年生5人から作りたいと要望があったおもちゃのキットを準備し、同科の3年生12人が先生役となって製作を手伝いました。製作するおもちゃは、電気エネルギーを光、音、運動に変換させていることが条件です。児童1人に生徒2、3人が付き、児童は電気の仕組みを教わりながら部品の組み立てや配線、はんだ付けなどの作業に取り組み、オリジナルおもちゃの完成を目指しました。光るメリーゴラウンドや音の鳴るミニカー、ライトが点滅する模型のハウスなど思い描いていたおもちゃの完成に児童は大喜び。後半には生徒から仕掛けの説明を受けたほか、友達同士で作品を見せ合っで遊んでいました。手回し発電機で電気をためて走らせるミニカーを作った藤野快君は「電気をためたり、はんだ付けをしたりする作業は緊張したけど、速く走る車を作ることができてうれしかった。コースや光るライトも作ってもらった」と満足げでした。協力した及川勇人君は「要望に応える形でものづくりをするのは初めてだったし、歳が離れている分、分かりやすく説明するのが大変だったが、喜んでもらえて良かった」と充実した表情でした。今後もさまざまな分野にチャレンジしましょう!!

産業技術科3年生は、今年度初めて破損などで使われなくなった車椅子を修理・整備するボランティアに取り組みました。修理した5台は、県社会福祉協議会を通じて車椅子を必要とする海外の人への元に届けられる予定です。(車椅子は2月にタイに送られる予定)  
地域の役に立とうと県社協ボランティア・市民活動センターの「いわて車いすフレンズ」に賛同して実施したものです。同科3年7人で車椅子修理班をつくり、2016年6月に技術講習を受講した。1月12日には梱包した車椅子を業者トラックに乗せ、引き渡し先の県社協に送りました。班長の小野寺峻君は「今年度初めての取り組みで、最初はどの知識もなかったが、自分たちが精いっぱい修理したということを使用する人たちに感じてもらえたら」と願っていました。



## 理科の魅力たっぷり

### 一関・清田小で出前授業

同科の12人が授業を完て、完成を目指した。真剣な表情を浮かべながら作業を進め、「コンテナーにたまり、電気で「光る」「動く」「音が出る」という要素を盛り込んだものづくりに取り組んだ。

清田小の村上瑞穂さんは「予想以上にすばいおもちゃができてびっくりした。初めは高校生のお兄さんたちは怖く感じけど、すごく優しく楽しかったと喜んでた。」

児童高の稲山郁也さんは「児童が喜んでくれて、苦労して作ったのがあった。電気工事関係の会社に就職するのって、お客さんの要望に責任を持つて応えることの重要性を学ぶことができた」と実感していた。

同校はこれまで、一般的な出前授業を行ってきた。今回は「高校で学んだ技術で動くメリーゴラウンドを協力して作る清田小の児童と千厩高の生徒

千厩高生が「先生」にものづくりの喜び共有

一関市千厩町の千厩高稲森隆夫校長、生徒546人、産業技術科の3年生による理科の出前授業は18日、同市千厩町の清田小(吉度康男校長、児童39人)で行われた。6年生5人は高校生が用意した部品を使い、電気のエネルギーで動いた車椅子の再生作業を体験。就職を志す生徒たちにとっても、納期を守り、顧客のニーズに応える大切さを学ぶ機会となった。

【この記事(平成29年1月19日岩手日報)は岩手日報社の許諾を得て転載しています。】



海外に送る車いすの修理に取り組んだ千厩高産業技術科の3年生

生徒たちは課題研究授業の中で活動に取り組んだ。福祉施設などで使われなくなった車いすを分解し、部品をきれいに落とし、パーツの使用を考慮して、メリーゴラウンドに交換するなどした。

7人は2班に分かれ、作業を進め、1台の修理・整備に約1カ月かけたという。

リーダーの小野寺峻さんは「タイヤの交換など力が必要な部分も難しかったが、自分たちが整備したものが少しでも役に立って



修理内容は、タイヤの交換やブレーキの整備、さび取りなどで、特に苦労したタイヤ交換は力が必要なため、夏場は汗びしょりになりながら入れ替え作業に取り組みました。←お疲れ様です!!

【上の記事(平成29年1月14日岩手日報)は、岩手日報社の許諾を得て転載しています。】



【卒業式】平成29年3月1日、本校第一体育館で行われた卒業式に、一関市長勝部修氏が来賓の一人として参加されました。卒業式の様子や印象を、一関市のHP「市長仕事百景」に次のように綴っておられましたのでご紹介します。  
「卒業式シーズンになりました。今日は市内の高等学校の多くが同じ時間帯での卒業式だったため、私は県立千厩高校の卒業式に参加させていただきました。買券で整然とした立派な式でした。次のステージでの頑張りを期待しています。」

【一関市キャリア教育シンポジウム(市教委主催)】シンポジウムは、平成29年1月27日(金)、川崎市民センターホールで開催されました。出席した学校関係者や中学生、保護者ら約120人は講演やパネル討論などを通じて、キャリア教育の必要性に理解を深めました。パネル討論は「10年後の地域と私たちの生き方を考える」をテーマに行われ、本校からは稲森校長が6人のパネリストの一人として意見を述べました。本校の取り組みは、ILC誘致後も視野に入れた三学科併設の特徴を活かしたものでした。